



平成28年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場会社名 日本社宅サービス株式会社
 コード番号 8945 URL <http://www.svataku.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東

(氏名) 笹 晃弘
 (氏名) 竹村 清紀

TEL 03-5229-8700

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第2四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第2四半期	3,335	6.5	307	15.1	321	17.0	219	29.2
27年6月期第2四半期	3,133	1.1	267	△1.0	274	△0.5	170	4.8

(注) 包括利益 28年6月期第2四半期 244百万円 (△6.9%) 27年6月期第2四半期 262百万円 (24.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第2四半期	51.97	49.23
27年6月期第2四半期	41.21	39.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年6月期第2四半期	5,232	3,338	62.1
27年6月期	5,595	3,135	55.6

(参考) 自己資本 28年6月期第2四半期 3,251百万円 27年6月期 3,112百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	0.00	—	25.00	25.00
28年6月期	—	0.00	—	—	—
28年6月期(予想)	—	—	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,247	9.3	450	△26.5	470	△28.3	302	△23.4	71.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年6月期2Q	6,243,400 株	27年6月期	6,242,500 株
② 期末自己株式数	28年6月期2Q	2,012,148 株	27年6月期	2,012,148 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年6月期2Q	4,230,652 株	27年6月期2Q	4,129,102 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策の効果もあり、企業収益は改善しており、景気は緩やかな回復基調が持続しました。しかしながら、中国経済をはじめとする海外経済を巡る不確実性は依然として高く、不透明な状況となっております。

このような環境のもと、社宅アウトソーシング業界は、企業の経営環境の変化や組織の効率的な運営のために社員の配置を変更する必要性やそれともなう人事制度の見直しの動きなど、企業の社宅担当部署を取り巻く環境の変化により、依然として企業の社宅制度改定への意欲は旺盛であり、当社は社宅アウトソーサーとしての優位性を維持しながら、より品質の高いサービスを提供し続けることに取り組んでまいりました。また、マンション管理業界は、新築のマンション市場の低迷で寡占化とリプレイスの激化が続くマーケット環境の厳しい中で、当社は管理サービスの品質向上と安心・安全・快適な暮らしを支えるサポート体制の強化、緻密なコミュニケーションにより確かなパートナーシップを築くことで、安定収益を目指し、規模拡大に取り組んでまいりました。

なお、当第2四半期連結累計期間において投資有価証券の売却による特別利益68百万円と貸倒引当金繰入額の計上による特別損失45百万円が発生しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は33億35百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は3億7百万円（同15.1%増）、経常利益は3億21百万円（同17.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億19百万円（同29.2%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は、次の通りであります。

① 社宅管理事務代行業業

社宅管理事務代行業業においては、「しゃたくさん」ブランドの安定的なリピート率の維持と新規稼働による受託件数の増加により受託収入が順調に増加したことから、売上高は16億95百万円（前年同期比9.5%増）となりました。営業利益は上期においてストックオプションの発行にともなう費用の増加があったものの、売上の増収効果に加え、採用の遅れ等による経費の下期へのずれ込みが発生したことから、2億67百万円（同7.7%増）となりました。

② 施設総合管理事業

施設総合管理事業においては、前期の管理戸数減少による売上への影響や居住者向け商品販売の減少等があったものの、計画修繕工事等の売上が年初計画に対して前倒しで推移したことで、売上高は16億40百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は38百万円（前年同期比120.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億62百万円減少し、52億32百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2億75百万円減少し、34億82百万円となりました。これは主に営業立替金の減少1億45百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ87百万円減少し、17億50百万円となりました。これは主に関係会社への長期貸付金の増加56百万円、関係会社への貸付金に対する貸倒引当金の設定45百万円、関係会社株式の売却74百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ5億65百万円減少し、18億94百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ5億44百万円減少し、14億91百万円となりました。これは主に短期借入金金の減少1億円、営業預り金の減少2億90百万円及び買掛金の減少64百万円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2億2百万円増加し、33億38百万円となりました。これは主に利益剰余金が1億14百万円増加したこと、保有株式の時価評価にともなうその他有価証券評価差額金が24百万円増加したこと、ストックオプションの発行により新株予約権が63百万円増加したことによるものであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より82百万円増加し、16億82百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次の通りであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動により増加した資金は、25百万円（前年同期は1億37百万円の資金の増加）となりました。これは主に営業預り金の減少2億90百万円及び法人税等の支払額1億8百万円による資金の減少があったものの、税金等調整前四半期純利益3億41百万円、営業立替金の減少による増加1億45百万円などによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動により増加した資金は2億63百万円（前年同期は1億21百万円の資金の減少）となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入1億7百万円及び貸付金の回収による収入1億50百万円などによるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動により減少した資金は2億5百万円（前年同期は1億65百万円の資金の減少）となりました。これは主に短期借入金の純減額1億円及び配当金の支払額1億5百万円などによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日（平成28年2月5日）公表いたしました「業績予想値と決算値との差異に関するお知らせ」に記載の通り、当第2四半期連結累計の利益は前回公表の予想を上回る結果となりましたが、依然として堅調な既存ビジネスに対し、新たな事業の進捗は未だ力強いものではなく、また上期よりずれ込んだ採用費用等の発生を下期以降見込んでいるため、平成27年8月14日「平成27年6月期決算短信（連結）」において公表した通期の業績予想値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,623,716	1,706,384
売掛金	273,353	219,722
営業立替金	1,220,922	1,075,692
商品	24,631	41,888
仕掛品	5,459	1,539
原材料及び貯蔵品	4,700	4,607
その他	607,856	434,905
貸倒引当金	△3,164	△2,472
流動資産合計	3,757,475	3,482,267
固定資産		
有形固定資産	108,424	101,026
無形固定資産	174,467	172,302
投資その他の資産		
投資有価証券	1,061,517	1,049,697
その他	493,725	472,574
貸倒引当金	—	△45,000
投資その他の資産合計	1,555,242	1,477,272
固定資産合計	1,838,134	1,750,600
資産合計	5,595,610	5,232,868
負債の部		
流動負債		
買掛金	261,141	196,419
短期借入金	100,000	—
未払法人税等	116,770	155,305
営業預り金	687,831	397,656
賞与引当金	28,391	30,552
役員賞与引当金	19,491	13,305
その他	822,982	698,419
流動負債合計	2,036,608	1,491,657
固定負債		
退職給付に係る負債	185,038	189,204
その他	238,451	213,961
固定負債合計	423,489	403,165
負債合計	2,460,098	1,894,822
純資産の部		
株主資本		
資本金	643,150	643,523
資本剰余金	448,457	448,829
利益剰余金	2,197,866	2,311,975
自己株式	△712,233	△712,233
株主資本合計	2,577,240	2,692,095
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	535,182	559,615
その他の包括利益累計額合計	535,182	559,615
新株予約権	23,088	86,335
純資産合計	3,135,512	3,338,045
負債純資産合計	5,595,610	5,232,868

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)
売上高	3,133,606	3,335,981
売上原価	2,523,266	2,631,877
売上総利益	610,339	704,104
販売費及び一般管理費	343,163	396,457
営業利益	267,176	307,647
営業外収益		
受取利息	2,060	2,123
受取配当金	1,616	1,892
投資事業組合運用益	1,092	902
補助金収入	2,997	8,400
その他	806	1,166
営業外収益合計	8,572	14,485
営業外費用		
支払補償費	243	357
消費税等調整額	475	8
その他	30	37
営業外費用合計	750	404
経常利益	274,999	321,728
特別利益		
投資有価証券売却益	—	68,601
関係会社株式売却益	—	1,095
新株予約権戻入益	717	880
特別利益合計	717	70,576
特別損失		
固定資産除却損	—	736
関係会社株式評価損	—	5,140
貸倒引当金繰入額	—	45,000
特別損失合計	—	50,876
税金等調整前四半期純利益	275,716	341,427
法人税等	105,553	121,559
四半期純利益	170,162	219,867
親会社株主に帰属する四半期純利益	170,162	219,867

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成26年7月1日 至 平成26年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日）
四半期純利益	170,162	219,867
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	92,245	24,433
その他の包括利益合計	92,245	24,433
四半期包括利益	262,408	244,300
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	262,408	244,300
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成26年7月1日 至平成26年12月31日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成27年7月1日 至平成27年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	275,716	341,427
減価償却費	40,962	40,841
新株予約権戻入益	△717	△880
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△402	44,308
賞与引当金の増減額（△は減少）	△1,731	2,161
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△18,043	△6,186
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△170	4,166
株式報酬費用	—	64,240
受取利息及び受取配当金	△3,676	△4,016
支払利息	2,357	1,369
投資有価証券売却損益（△は益）	—	△68,601
投資事業組合運用損益（△は益）	△1,092	△902
関係会社株式売却損益（△は益）	—	△1,095
固定資産除却損	—	736
関係会社株式評価損	—	5,140
売上債権の増減額（△は増加）	36,084	53,630
仕入債務の増減額（△は減少）	△30,124	△64,721
営業立替金の増減額（△は増加）	117,240	145,229
たな卸資産の増減額（△は増加）	6,520	△13,244
販売用不動産の増減額（△は増加）	△20,902	—
前受金の増減額（△は減少）	7,329	△56,472
営業預り金の増減額（△は減少）	△67,040	△290,175
その他	△55,618	△65,984
小計	286,692	130,970
利息及び配当金の受取額	2,543	4,224
利息の支払額	△2,319	△1,328
法人税等の支払額	△149,356	△108,819
営業活動によるキャッシュ・フロー	137,559	25,047
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,841	△2,925
無形固定資産の取得による支出	△56,302	△20,166
投資有価証券の取得による支出	△158	△180
投資有価証券の売却による収入	—	107,038
関係会社株式の売却による収入	—	75,555
貸付けによる支出	△50,000	△56,000
貸付金の回収による収入	—	150,000
その他	△1,192	9,952
投資活動によるキャッシュ・フロー	△121,495	263,272
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△193,000	△100,000
リース債務の返済による支出	△418	△860
株式の発行による収入	8,328	631
自己株式の処分による収入	99,654	—
配当金の支払額	△80,099	△105,423
財務活動によるキャッシュ・フロー	△165,534	△205,651
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△149,469	82,668
現金及び現金同等物の期首残高	1,855,571	1,599,447
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,706,102	1,682,116

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間（自平成26年7月1日至平成26年12月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	社宅管理事 務代行業業	施設総合管 理事業			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,549,185	1,584,420	3,133,606	—	3,133,606
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,962	2,881	19,844	(19,844)	—
計	1,566,147	1,587,302	3,153,450	(19,844)	3,133,606
セグメント利益	248,114	17,532	265,646	1,529	267,176

(注) 1. セグメント利益の「調整額」は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間（自平成27年7月1日至平成27年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	社宅管理事 務代行業業	施設総合管 理事業			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,695,721	1,640,260	3,335,981	—	3,335,981
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	45,493	6,999	52,493	(52,493)	—
計	1,741,215	1,647,260	3,388,475	(52,493)	3,335,981
セグメント利益	267,243	38,676	305,919	1,728	307,647

(注) 1. セグメント利益の「調整額」は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。